

## 第46回環境工学研究フォーラム優秀ポスター発表賞を受賞！

B4 弘瀬智隆君 ・ 伊藤 司講師

平成21年11月27～30日までの3日間、新島学園短期大学（高崎市）で開催された第46回環境工学研究フォーラム（土木学会主催）において、社会環境デザイン工学科4年生の弘瀬智隆君、伊藤司講師が、最も優れたポスター発表論文に対して授与される優秀ポスター発表賞を受賞した。対象となった発表論文題目は、「着色水の色の評価方法の検討」である。これは産業廃水や河川水、飲料など、着色している水すべてを対象とし、従来難しかった水の色の評価方法を新しく提案したものである。着色水は様々な産業から大量に発生しているが、色は直接有害物質を表さないことや、脱色処理が困難であることなどの理由により、ほとんどの自治体では規制されていない。伊藤講師は視覚と相関の高い有効な評価方法がないことが規制を難しくしている重要な要因と考え、着色水の色の評価方法を研究してきた。平成21年度、学部4年生の弘瀬君が卒業研究のテーマとして4月より熱心に取り組み、工夫と試行錯誤を重ねた結果、目視の観察結果に対応して色の濃淡を絶対評価できる新しい評価方法の開発に成功し、今回その成果が評価されたかたちとなった。今後は実河川や様々な産業廃水に対して適用され、河川的环境改善に生かされることが期待される。

